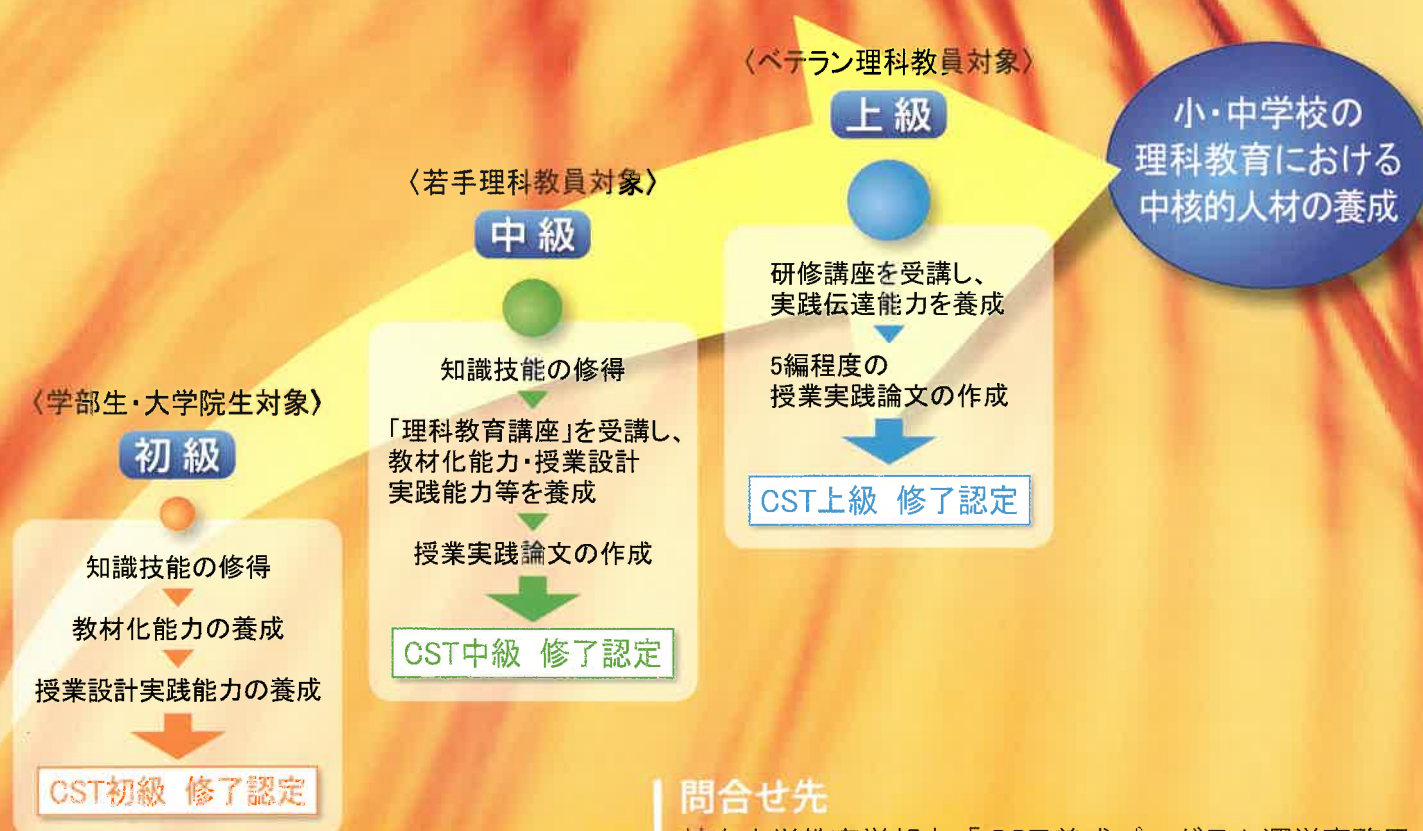


Core Science Teacher Gifu

コア・サイエンス・ティーチャー養成プログラム
初級・中級・上級コースプログラム

高度な教材開発力 指導力を身につけCSTへ

岐阜大学・岐阜県教育委員会



問合せ先

岐阜大学教育学部内「CST養成プログラム運営事務局」
501-1193 岐阜市柳戸1番1
TEL: 058-293-2203 FAX: 058-293-2207
URL: <http://zukan.chigaku.ed.gifu-u.ac.jp/cst/index.php>

CSTの仕事・任務・役割



CST養成拠点事業によるCST修了認定の基準

CST評価基準項目		評価基準の内容
I. 理科科目群の科学的価値の読解力		個々の教科内容の専門的知識と、それに携わる科学者の思考方法を学び取り、小・中学校理科の学習内容との接点とを見出す
II. 教材開発能力	a.教材の目的意識の明確化	開発しようとする教材が、どのような課題を解決しうるのかを明らかにする
	b.先行教材事例の収集	対象の学習内容に関する教材開発事例を収集・比較検討することにより、自分のアイデアを明確化できる
	c.地域の学習資源の活用方法	教材開発のために、地域の学習資源（施設、人材等）を活用する方法を知り、実際に活用できる
	d.科学的知識と子どもをつなぐ工夫	開講される講座の内容を理解し、それが小・中学生にとって、理解できる範囲のものにするように工夫できる
	e.チームに対する貢献	よりよい教材とするために他の構成員と討論し、集団の成果に貢献できる
III. 授業設計・実践能力	a.学習者の実態理解	学習内容に関する学習者の先行知識や興味・関心を把握し、授業設計に役立てる
	b.理科授業過程の設計	授業過程における学習者の情意面の変化、適切な発問とともに、授業において教材を適切に位置づける
	c.学習環境の設定	学習者の活動を前提として、実験器具や観察教具、ワークシートなどを効果的に準備する
	d.学習者の発言の取り上げ方	授業における学習者の多様なアイデアを適切に取り上げ、授業の進行に役立てる
IV. 実践伝達能力	a.実践・教材の価値づけ	自分が開発した教材や授業実践の価値を、他の教材事例や実践事例との比較検討を通して明確に説明できる
	b.学習評価に基づく論理的説明	授業におけるノート記述や学習者から得られたデータをもとに、教材や実践の効果を論理的に記述する
	c.発表・改善への意欲	授業公開や実践論文の提出などを積極的に行い、多様な意見を取り入れ、主体的に自分自身の教育改善を行う意欲を持つ
	d.教員研修の企画・実施	他の教員・教員志望学生に対し、教材開発や理科の魅力を知るための研修プログラムを企画し、講師となる

コア・サイエンス・ティーチャー(CST)養成プログラム

(初級・中級・上級)コース受講申込書

*いずれかを○印で囲んでください

■ 基本事項

フリガナ			年 齢	所属または学年	
氏 名			歳		
居住地	郵便番号	〒		—	
	住 所				
	電 話	自宅	() —		
		携帯	— —		
	E-mail				
所 属	所 属 名				初級コースの場合は左欄の記入は不用
	郵便番号	〒	—		
	住 所				
	電 話	() —			
	E-mail				

■ 研究事項

*初級コースの場合は下欄の記入は不用

研究テーマ	
研究内容	

■ 所属長の承認

*初級コースの場合は下欄は不用

所 属 長	(印)
-------	-----

提出締切：毎年5月31日

提出先：初級コース 教育学部学務係窓口
中・上級者コース 右記へ郵送またはFAX

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学教育学部内
CST養成プログラム運営事務局(FAX:058-293-2207)